

諏訪湖クラブニュース

NO. 33

もくじ

- 諏訪湖トライアスロンのボランティア活動に参加して
- 地域通貨の新しい未来
- 諏訪湖の日フォーラム/うんち君の旅/下水道事業
- 諏訪湖をみんなの遊び場に
- 理事会議事録

10月の中旬の夕方、見上げると空一面に広がったヒツジ雲



石彫公園から日の入りした方向を望む

散歩しながら諏訪湖に学ぶではありませんが、諏訪湖畔行ったところ上空がうろこ雲の大群に覆われている光景に目を奪われました。10月11日の午後5時30分頃の映像です。

羊雲とかいわし雲とか言われていますが。ネットで調べると、羊雲は高さ2,500メートルでうろこ雲は5,000メートルくらいにできるようです。

この日に見た雲は羊雲だったようですが、天気が崩れる前兆だそうです。(八幡記)

令和4年12月拡大理事会及び忘年会（お知らせ）

日時；12月18日(日) 午後4時半

場所；ごんべえ 電話 (58)6796

会費, 5,000円(ノンアルコールの方は、4,000円)

※出席できる方は、12月12日(月)までにご連絡ください。

高木 (ファックス) 0266-22-6104

(携帯) 090-4152-1871

すでに理事会等で連絡済みの方は、必要ありません。

諏訪湖トライアスロンのボランティア活動に参加して

諏訪湖クラブ

令和3年の大会がコロナ禍により1年延期されたため、令和4年6月25日(土)に初めての諏訪湖エイトピークストライアスロンが諏訪湖周辺や八ヶ岳山麓をコースとして開催されました。全国から参加された選手は654人、チームで参加された方が16チームと予想を超える大会となりました。

天気にも恵まれ、諏訪湖の遠泳 2キロメートル、自転車 80 キロメートル、マラソン 18 キロメートル合計 100 キロメートルの諏訪湖や八ヶ岳の自然を満喫しながらのコースです。

結果 男子 一位 藤飯雅之(岐阜県) 37歳 4時間4分28秒
 女子 一位 川崎由里奈(埼玉県) 36歳 4時間27分5秒

コースの紹介

① スイムコース (2 km)

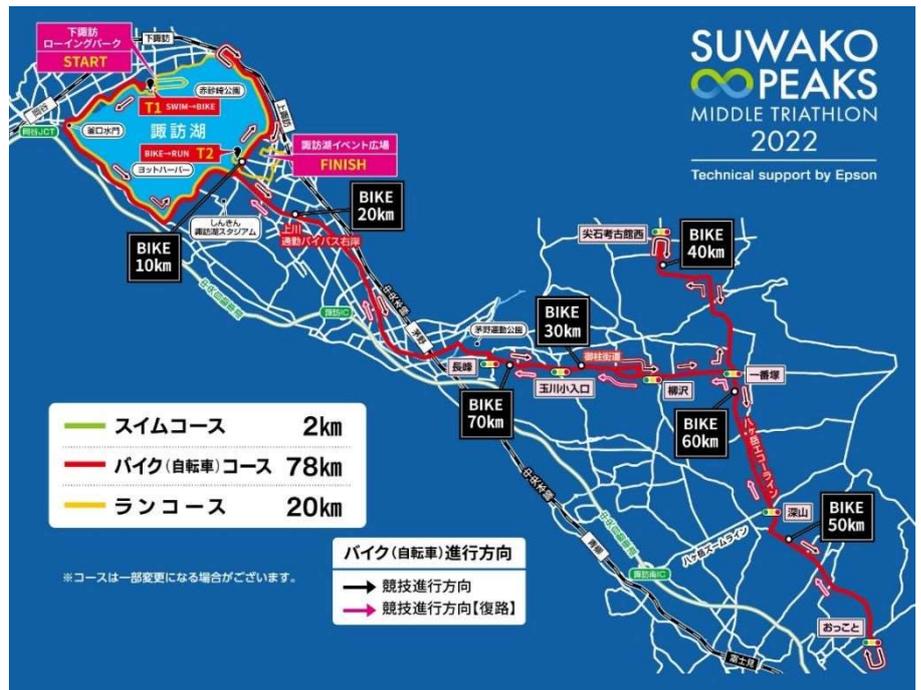
下諏訪ローイングパークから、1周1kmのコースを1度上陸して2周する比較的穏やかな水面の2kmのコース

② バイクコース (78 km)

ローイングパークに隣接する赤砂崎公園をスタートし、諏訪湖周を走行したあと、八ヶ岳を見ながら、御柱祭で有名な登り基調の御柱街道方面へ。一旦登りきったら快適なアップダウンが続くエコーラインを走行し、再び諏訪湖を目指します。約78kmの走り応えのあるコース。

③ ランコース (20km)

諏訪湖ヨットハーバーを起点にジョギングロードとして整備された諏訪湖周を走り、諏訪市街地を通り抜け、諏訪湖イベント広場のフィニッシュへと向かう20kmのコース。



コース図



諏訪湖のスイムコースを力泳する選手たち



八ヶ岳に向かって走るコース(御柱街道)



コースとなる八ヶ岳エコーライン
 右奥は蓼科山

事前に水質検査を行い諏訪湖は泳ぐことができることを確認

トライアスロンの開催に諏訪湖の水質がいつ一番適しているかは重要なこととなります。

水質はもちろん、水温や、豪雨による諏訪湖のごみや汚れ、諏訪湖の魚の産卵時期の後は死んだ魚が浮いてしまうなどいろいろな面で考えてみると6月の下旬は水質が安定して良好であると言えます。

スイム会場水質検査結果（第2回目）

スワコエイトピークスミドルトライアスロン大会実行委員会は、諏訪湖スイム会場において水質検査を実施いたしました。 ・実施日時：2022年6月24日（金）

- ・場所：諏訪湖（スイム会場スタート地点付近と折り返し地点付近の2カ所）
- ・結果：World Triathlon が定める基準内

参考：World Triathlon 競技規則（水質指標基準）/環境省の水浴場水質判定基準より厳しい

- ・PH 値 6～9
- ・大腸菌の濃度が(250cfu/100ml)以下であること
- ・腸球菌の濃度が(100cfu/100ml)以下であること
- ・紅藻類の大量発生を示す視覚的根拠がないこと

参考 水浴場水質判定基準（環境省）

区分		ふん便性大腸菌群数	COD (mg/L)	油膜	透明度
可	水質 B	400 個/100mL 以下	5 mg/L 以下	常時は油膜が認められない	水深 1 m 未満 ～50cm 以上
	水質 C	1000 個/100mL 以下	8 mg/L 以下	常時は油膜が認められない	水深 1 m 未満 ～50cm 以上

■諏訪湖クラブの会員がボランティア活動したのは高島城城内

高島城のコースは、諏訪湖を一周して島崎川の川沿いを上がり県道諏訪辰野線に出て諏訪市役所を右に見て高島城に入るコースです。地域の子供たちが太鼓で歓迎してくれました。

ランニングの疲れが出てくる残り約2 kmの地点です。残り2 kmですよと声を掛けると、多くの方が手を挙げて答えてくれました。



高島城城内のコース

大会関係者にお願いしたいこと

高島城を左手に右にカーブするところですが、植栽された大木の根が舗装を持ち上げていて、参加された方がよろめく場面も見られました。舗装を持ち上げるにより平坦性の確保を希望します。



県道岡谷茅野線前宮前交差点
右手に諏訪大社前宮



高島城前のコース
根により3本ほど盛り上がっている

交通の規制などの問題がありますが、県道岡谷茅野線のバイパスを利用して歴史ある諏訪大社の上社の前を自転車コースにすることができたらいいな～と思います。

諏訪湖トライアスロンについては参加者の評価もよかったようですのでぜひ続けてほしいと思います。それには諏訪湖の水質を良好に維持するなど、地元の取り組みが求められてきます。

地域通貨の新しい未来

諏訪湖クラブ理事 市川 純章

はじめに

お金の仕組みは学生時代からの興味の対象でした。独学を続け、通貨が流通する社会をシステムとして全体を見たとき、現在のお金のシステムは問題が多く、新しい通貨システムとしての地域通貨を考えるに至りました。本稿で、自由な発想でシステムとしての地域通貨を考えてみたいと思います。みなさんもお金の本質をとらえ、一緒に新しいシステムを考えてみませんか。

コミュニティの信用内で流通する通貨

通貨は人々の間でモノやサービスの対価として支払うもので、互いに信用するコミュニティの間で流通します。知らない国の知らない通貨で支払われても困ります。地域通貨は特定の地域で信用され流通する独自の通貨といえます。

人々の労働とお金の効果

社会は人々の多様な労働提供で成り立っています。この労働提供は「お互い様」で、それらを合理的に行うために通貨があるといえます。通貨には以下の効果が期待されます。

- I) 人々の労働への対価（やってもらったことへの感謝）
- II) 人々の労働を引き出す動機付け（やってほしいことへの動機付け）
- III) 労働交換の円滑化（物々交換よりも合理的）

上記だけなら、地域通貨を取って流通させる意味は見出せません。地域通貨の歴史を見ると通貨に期待される効果に気づきます。

事例1「ヴェグルの奇跡」(ゲゼルが考案した自由通貨理論の実践例)

1932年オーストリアの小都市ヴェグル人口5000人未満。町には失業者が溢れ不況に陥っていた。市が自由貨幣（労働証明書）を発行。道路、公共施設の建設の支払いに使用。労働証明書を取得した者は、その使用に毎月額面の1%の証紙を必要とするルールを付加。その結果、発行通貨は13.5か月間の間に464回転。通貨の所有者変更は平均で週8回。あっという間に失業者がいなくなり、町は活性化、市の税収も増大。しかし開始からわずか1年で禁止となった。

この事例1のポイントは、貯蓄による経済の停滞を抑止し、お金の流通速度を増加させるためのルールを通貨に設定したことにあります。

事例2「WIR(ヴィア)」スイス ヴィア銀行発行の通貨

スイスにはフランがありますがヴィア銀行の発行するヴィアも流通する2重通貨の国です。1934年から始まっているそうです。公共事業の支払いもフランとヴィアの混合比率で支払われるほど2重通貨が浸透しています。ヴィアは組合内の事業者間で決済できるほか、ヴィア銀行から好条件でヴィアを借り入れることができ、事業者による互助組織として誕生しました。この事例2のポイントは、お金を必要としているコミュニティが独自に資金発行・調達できることです。

その他の事例として、上記と同じ1930年代の世界恐慌の頃、アメリカでは3000種類もの地域通貨が各地で自主発行されたようです。理由は、地域内で流通させるアメリカ「ドル」が足りなかったことに起因しています。

お金で発展したがお金で不自由になった社会

社会はお金の発明で発展してきた一方で、お金がないと機能しない社会になっています。「お金がない」「財源はどうする」という言葉をよく聞きます。しかし、無人島でどれだけお金を持っていても何も手に入らないのは分かりますが、十分な生産設備、資源、エネルギー、人手があっても、お金が無いと何も手に入らないのは変です。人々が働けば手に入るのに何かおかしいです。

お金が足りないからデフレなのか？

「売れない→値段を下げる→売り上げ減る→給料安い→節約する→買わない→売れない」という連鎖がデフレスパイラルを生んでいると思います。物が安いことは嬉しいですが、値切るとは、まわりまわって自分の収入を減らすことにつながりそうです。とはいえ、高い物価や高い給料を支払うには、社会に十分なお金が必要で、足りない状況では、金を借りる金利は高くなります。今の日本は超低金利ですので、お金の総量は足りている、どこか余っていると推察できます。なのに、お金が無い状態に思えて不思議です。

「赤字は悪」なのか？

「赤字は悪」「黒字は善」「貯蓄は善」という価値観に基づくと、デフレスパイラルが起こり易いように思えます。誰かの黒字や貯蓄は、誰かの赤字や負債になるのがお金のシステムです。「赤字は悪」なら「黒字も悪」でないとつじつまが合いません。何もせず、お金を使わなくても±0になるので「±0が善」とは言い切れません。企業の活動は黒字を出し続けることが善とされ、これは競争原理としては良いアイデアですが、究極の真理としては実現不可能なので悩ましいところです。

活力ある社会を生かす地域通貨

私たちの暮らしの豊かさは、私たちの労働で作ります。無人島ではそれはできません。豊かさを十分に作れるのは活力のある社会です。現代は、潜在的に活力があるのに、お金が無いことで停滞しているように思います。そこで、事例1と事例2をヒントに地域通貨のしくみを考えてみます。

子育て教育の仕組みからスモールスタート

壮大な仕組みを考えるのは難しいので、小さい仕組みから考えてみます。市では子ども向けの無料の体験イベントがボランティア市民によって多く行われています。子どもたちの遊びたいという強い欲求に着目します。通貨の発行者は、子ども向けイベントを支援している市とします。まず子どもたちに毎月一定の通貨を渡します。ベーシックインカムです。子どもたちはイベントで通貨を支払って体験し、もっと遊びたいので通貨が欲しくなります。そこで何かの労働で通貨が手に入る仕組みを作ります（効果Ⅱ）。何がよいかは思案中ですが、社会のためになる労働の創出を設計できます。提供者のボランティア市民は通貨を手に入れます。通貨はボランティア活動の調達に使用できるようにします（効果Ⅲ）。すると町のお店に通貨が行きわたります。ボランティア市民の収入にしてもよさそうです（効果Ⅰ）。通貨システムは長期的に発行者が発行分を回収できないと破綻すると考えられます。そこで市税等の支払いにも使えるようにし回収します。通貨の方が「円」よりも得する設定があると効果的です。上手くいきそうですが、ハイスペックの器用な人は、やがて通貨が黒字になり貯蓄が増え流通が停滞しそうです。そこで使わないと時間経過で減ってしまう仕組みを入れます（事例1）。しかし減るのではなく、市に寄付するという仕組みにします。市は回収した通貨を再び原資として使えます。この通貨は、子どもたちを豊かに育てるという労働をうまく引き出し、さらに社会的な経済活動として取り込めそうです。

現在の円でもできそうな仕組みですが、通貨の原資は市が独自に発行し、財源が無くても実施可能です。発行権限が地域通貨の大きな特徴で、財源問題を回避した施策になるのではないかと考えています。

最後に意外な結論が・・・

通貨の仕組みをあれこれ考えていくとある結論に至ります。通貨はお互い様の役割分担に対して帳尻を合わせる帳簿の機能であり、監視の機能です。一方的にしてもらわず、してあげず、自動的に“お互い様”を確認でき監視できます。・・・もしも互いを信頼できるなら、このような確認と監視の仕組みは要らなくなるのではないかと・・・。

/市川純章氏の紹介/ 公立諏訪東京理科大学教授 情報応用工学科；研究テーマ(1)創造性を育む教育のためのカリキュラム開発・教材開発 (2)顕微鏡画像からの微生物計測手法の研究 (3)群ロボットの創発性に関する研究

諏訪湖の日フォーラム/うんち君の旅/下水道事業

諏訪湖クラブ理事 田代幸雄

10月1日は、「諏訪湖の日」、今年も多くの皆さんに理解を深めてもらうための企画として、「諏訪湖の日フォーラム」を開催しました。今年も新型コロナウイルス感染症を考慮して、Youtubeによるオンラインイベントでの開催としました。今回は、「下水道の力で諏訪湖をキレイに」をテーマとし、諏訪湖の浄化に大きな役割を果たしている諏訪湖流域下水道をメインに、下水道の視点から諏訪湖を考える企画としました。司会は、昨年に引き続き軽妙なトークのLCV小池喜則さん。そしてアシスタントには、なんと！AKB48、チーム8のさやりんこと、高橋彩香さんに務めてもらいました。パネラーはうんち君博士こと下水道広報プラットフォーム（GKP）の栗原秀人さん、元長野日報記者の宮坂早苗さん、諏訪湖クラブ沖野会長、高木保夫さん、諏訪湖流域下水道事務所平澤管理課長の皆さんに務めてもらいました。



パネルディスカッションの様子

第一部では、「諏訪湖を知ろう」とし、諏訪湖の日制定の経過、諏訪湖の今昔などを語ってもらいました。第二部では、諏訪湖浄化に寄与した下水道の力を学びました。

最初に9月16日、諏訪市立四賀小学校4年生の皆さんを対象に行った出前授業「うんち君の旅～水の再生ものがたり～」の様子を放映しました。

地域の宝諏訪湖と私たちの暮らしが下水道を通じて繋がっていることを学び豊かな諏訪湖を未来に続けるために自分たちが何をできるかを学んでいただきました。

講師は、うんち君博士こと下水道広報プラットフォーム（GKP）の栗原秀人さん（長野県安曇野出身、元国土交通省下水道部下水道事業課長）



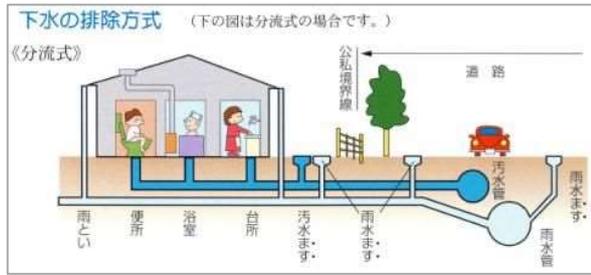
四賀小学校で行われたうんちくんの旅の様子



学習会の講師をして頂いた栗原秀人さん

GKP：下水道広報プラットフォーム

私たちの共有財産である「下水道」を未来へ引き継ぎ、活かしていくために、利用者である国民ひとりひとりに対して広報活動を行う団体



学校や家庭からの排水は下水道管に

四賀小学校から豊田クリーンレイクまでつながっている下水道管

あわせて、出前授業の感想文の中から2名の方を「うんち君の旅をよく理解できたで賞」に選出し、発表と表彰を行いました。

この後、うんち君博士による大人向けのミニ授業、諏訪湖流域下水道に関するQ&Aコーナーへと続きました。最後には、参加者から今日のフォーラムの感想を述べていただき、御柱イヤーということもあり、高木保夫さんの木やりで、終了しました。

このフォーラムは下記のとおりYoutubeで視聴可能です。



最後はみんなでよいさ～よいさ～



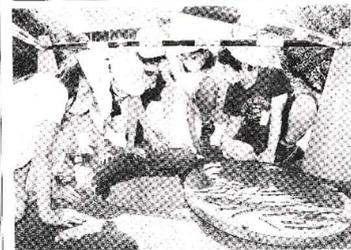
諏訪湖流域下水道終末処理場 消化タンク

長野日報

「うんち君の旅、下水道の学習」

四賀小4年 排水管も見学

諏訪市四賀小学校4年生49人は16日、諏訪湖や下水道に関わる専門家から、水の恵みや怖さ、使った水を流す下水道の仕組みについて学んだ。映像やマンホールをのぞいて、下水管を流れる汚水に注目。



自分たちの暮らしが下水道と深く関わっていることを実感し、水や下水道に対し、今から何ができるかを探った。授業は社会科の「水はここからの一環として行われ、この日のタイトルは「下水道のマンホールをのぞき下水道を流れる疑似うんちに注目する四賀小4年生」など説明。田村美織さんは、「うんち君は泳げる暇に行かなくて、家の人たちにも伝えたいと話した。今日の授業の様子を、10月1日午後1時30分から諏訪市駅前交差点の流テラスすわつチャオで開く学路では、少人数で「諏訪湖の日フォーラム」で紹介する。(宮坂卓苗)

「うんち君の旅、水の再生水管を学ぶ。マンホールの中を覗くのは初めて」と興味をもち、学校のトイレから疑似うんち君が流れてくる様子に目を凝らした。講師の問い掛けに積極的に答え、質問も重ねた。瀧陽和さんは、「水は大切、使い過ぎると下水道も大変なので注ぎたい。油や髪の毛なども流さないように心掛けたい。」田村美織さんは、「うんち君が泳げる暇に行かなくて、家の人たちにも伝えたいと話した。今日の授業の様子を、10月1日午後1時30分から諏訪市駅前交差点の流テラスすわつチャオで開く学路では、少人数で「諏訪湖の日フォーラム」で紹介する。(宮坂卓苗)

学習会の様子を伝える長野日報掲載記事

また、ケーブルテレビLCVの121chで、11月5日・6日は13:00～と19:00～、11月7日・8日は13:00～に放送されました。

Youtube 「諏訪湖の日フォーラム」はこちらから



諏訪湖をみんなの遊び場に

諏訪湖クラブ新会員 井川 竜太

<ご挨拶>

2019年4月より紅やマリーナを拠点に「諏訪湖カヤック」を運営しているアポルタ合同会社 代表社員 井川 竜太と申します。諏訪湖カヤックでは、湖や川でカヤックを体験できるガイドツアーを提供しています。「諏訪湖を人が集まる場所にしたい」こちらは諏訪湖カヤック開業時から掲げている私の将来ビジョンです。これは観光客の増加だけを狙ったものではなく、地元民が早朝や、学校/仕事終わりに立ち寄りたくなるような、何気ない日常のワンシーンに諏訪湖が思い出され、そして愛される諏訪湖を目指して掲げたビジョンです。その夢を叶えるための最初のアクションが諏訪湖カヤックでした。来場者数は毎年堅調で、オープン時と比較すると5倍以上に伸びてきております。オープンした2019年からまもなく4年が経過します。

当ビジョンは4年間変わることなく、諏訪湖に対する熱意は高まるばかりです。たった5艇でオープンした諏訪湖カヤックも、おかげさまで40艇(1人乗り、2人乗りの合計)まで船が増え、1度に50名のお客様をお迎えすることができるようになりました。これからもカヤックを通じてさらに諏訪湖を盛り上げてまいります。



諏訪湖カヤックのメンバー

<景観美化への取り組み>

諏訪湖カヤックでは、2022年4月から「諏訪湖クリーンプロジェクト」という新たな取り組みを開始しました。諏訪湖クリーンプロジェクトとは、190㎡を1区画として諏訪湖上を区分けし、ご支援いただいた区画を諏訪湖カヤックが責任を持って「菱やゴミが無い状態を1年間保つ」という清掃代行サービスです。初年度の対象エリアは諏訪湖間欠泉センターから衣之渡川までとし、全1,034区画のご支援を募っております。2022年10月時点で270区画(51,300㎡)を支援いただき、日々清掃活動をおこなっております。ご支援をいただいた日から1年間清掃をさせていただきますので、いつでもご協賛いただけます。清掃方法は、5月～10月は和船を用いた菱刈りとカヤックを用いたゴミ拾いが主となります。菱が枯れて沈み始める10月以降は湖畔にうち寄せられた湖岸ゴミの回収を主におこないます。諏訪市の後援を頂戴し、ゴミの処理等をご協力いただいております。ご協賛は諏訪湖カヤックのホームページ、お電話、メール、お申し込み用紙で受け付けております。



黄色がご支援いただいた区画

<諏訪湖クリーンプロジェクトの背景>

オープン時から懸念されていた水質や景観の問題。ガイドをする中で「景観の問題」が喫緊の課題と考え、空き時間に浮遊ゴミの回収や菱の抜き取り等をおこなってきました。しかし、一人でできる時間/範囲には限界があり、もどかしさを感じながらお越しいただいたお客様に少しでも快適に過ごしてもらえよう作業を続けてまいりました。ツアーで通過するエリアをなんとか確保し、できるだけ綺麗な場所を選んで営業してきましたが、少し目線を遠くへ向けると菱やゴミが視界に入り、せっかくの清々しい湖上の情景が壊されてしまう。そのような状況下で、徐々に同じ思いをもった仲間が集まり始めました。2021年5月には、諏訪湖カヤックにお越しいただいたお客さんがIターンで東京から移住し入社。お客さんとしてカヤックを楽しむ一方で、諏訪湖での仕事に魅力とやりがいを感じてくれたそうです。2022年4月には、諏訪湖の環境美化に携わりたいと、諏訪出身の女性がUターンで京都から移住し入社することが決まりました。体制が整い始めた今こそがこの最大課題に取り組む時だと思い、当プロジェクトに着手しました。



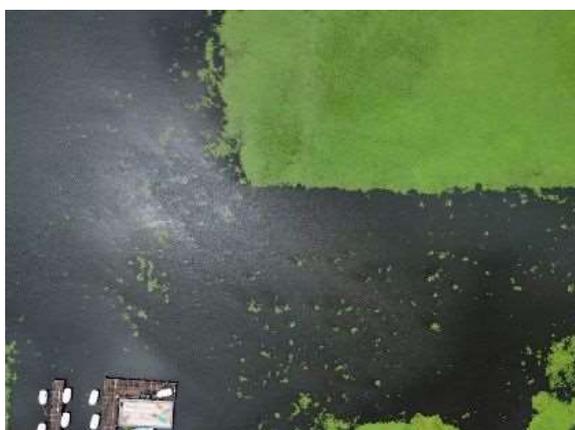
菱刈作業の様子



自作の菱刈船



作業中の様子



進捗状況をドローン撮影

スワコカヤック
suwakokayak



詳細は下記ホームページをご覧ください

<https://www.suwako-kayak.com>

理事会報告

第 149 回 日時：令和 4 年(2022)10 月 16 日(日)午前 10 時～正午まで

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野 長崎(政) 井上 八幡 鴨志田 田代 田辺 入江

小宮の御柱役員などで欠席者が多く、参加者の少ない理事会となりました。

内容：

1. 諏訪湖の日のフォーラム【田代】

このイベントの提案者 GKP の栗原秀人さんからこの学習会を今後も継続してほしいと提案があった。

資料-(1) 四賀小学校出前授業+諏訪湖フォーラムの発展について (案)

趣旨；地域の宝、諏訪湖と私たちの暮らしが下水道を通じて繋がっていることを学び豊かな諏訪湖を未来に続けるために自分たちが何をできるか行動する。

GKP：下水道広報プラットフォーム（私たちの共有財産である「下水道」を未来へ引き継ぎ、活かしていくために、利用者である国民ひとりひとりに対して広報活動を行う団体）。

資料-(2) ちらし「諏訪湖の日のフォーラム」

2. 諏訪湖のごみまるまる調査【沖野】

10 月 1 日諏訪湖の日フォーラムとして諏訪湖創生ビジョン推進会議主催で諏訪湖周辺 5 カ所でごみを拾って分析するイベントを実施 →資料(3)

3. 令和 3 年度地域発元気づくり支援金優良事業に選定される【八幡】

諏訪地域振興局管内の元気づくり支援金は 44 事業（支援金約 5 6 0 0 万円）の中から優良事業として諏訪湖クラブの「諏訪湖に学ぶ」他 6 事業が選定された。

詳細は諏訪地域振興局 9 月 26 日プレスリリース参照

令和 5 年度の元気づくり支援金について（予定） 申請は令和 5 年 1 月中

(1) 諏訪湖の水生植物

(2) 下水道学習資料作成

(3) オオワシグルの紙芝居作成

この他に冊子の作成を希望される方は、令和 4 年 12 月 15 日までに事務局に申し出ください。12 月の理事会にて報告します。

4. その他

・10 月 28 日（金）午後 長野県阿部知事が諏訪湖に係る取り組みなどを意見交換したいとのことで沖野会長に出席依頼

・井上祥一郎さんより報告

第 8 期諏訪湖水質保全計画で公募中のパブリックコメントとして意見を出したい

・井上祥一郎さんが伊那地方で採取したシジミ、ツブ十数匹を持参

→シジミ類は八幡が引き取り、孫に見せたのち近くの水路に放流（大きくな～れ）



シジミ 21 匹 (左)、ツブ 7 匹

第 150 回 日時：令和 4 年(2022)11 月 20 日(日) 午前 10 時～正午まで

場所 諏訪湖スマートレイク事務所

出席者 沖野 宮原 金子 井上 高木 八幡 鴨志田 山村 宮坂 市川 田代 小池

小山友旗（諏訪湖カヤック副会長）計 13 名

沖野外輝夫会長より

「成長の限界」は、1972年にメドウズが「人類の危機に関するプロジェクト」のための研究報告、でその中で予見したとおり2022年に世界の人口が80億人になった。

1972年6月にスウェーデンストックホルムで開催された国連人間環境会議(UNCHE)で「ストックホルム人間環境宣言」が採択された。

私沖野外輝夫が諏訪湖の基礎研究として諏訪臨湖実験場に赴任した年
議題

- 1 次回拡大理事会(忘年会) 令和4年12月18日(日) 16:30~
会場 「ごんべえ」 会費 5,000円
- 2 諏訪湖カヤックの取り組み及び自己紹介 諏訪湖カヤック 小山友旗さん
- 3 阿部知事と地域懇談会
令和4年11月28日(月) 9時30分~11時30分合庁講堂
出席 沖野 金子 八幡 市川 宮原 山村 市川 高木
- 4 県民参加型予算(提案)について
* 諏訪地域振興局(“諏訪湖には魚多し”復活プロジェクト(昭和40年代の湖内環境の復活))
井上監事提案 ナノバブル、渋のエゴの復活、スワコカヤックと連携
- 5 静岡大学附属浜松中学校の「しなの体験学習」
令和5年3月28日(火) 会場 すわっチャオ 令和4年6月9日に引き続き実施
- 6 令和5年 元気づくり支援金申請【八幡】
 - (1) 諏訪湖の水生植物
 - (2) オオワシ「グル」紙芝居
 - (3) 諏訪湖の治水の歴史、弁天島の誕生と撤去 釜口水門
申請 1月中、ヒヤリング 2月中
- 7 タウンミーティング/元気づくり支援金事業説明会
12月15日(木) 13:15~
講師市川、出席者 市川、沖野、八幡、田代、高木
- 8 諏訪市行政評価委員 令和5年度も引き続き山村理事再任
- 9 四賀小 うんちくんの旅 よかったとの意見が多く寄せられた
- 10 第8期諏訪湖水質保全計画(令和4年~8年)への意見【井上】
黒い泥を赤い泥に

お願いです

- ・ 諏訪湖クラブニュースの郵送を不要とされた方にはホームページでの閲覧をお願いすることになりますが、ホームページに掲載された旨のメールを希望される方は下記アドレスにメールアドレスを連絡ください。
- ・ 諏訪湖クラブの理事会は毎月第3日曜日午前10時より諏訪湖スマートレイク事務所(諏訪市清水2丁目1-4)にて拡大理事会として行っています。どなたでも参加できます。

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

<https://suwako-club.com/about.html>

諏訪湖クラブニュース No.33 令和4年(2022年)12月発行

【参考】ラムサール条約

1971年にイランのラムサールで開かれた会議で作られた条約で、正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という。

つまり水鳥が休んだりえさを取ったりするのに大切な湿地を保護するための国際的な取り決めで、2008年現在150か国が加盟している。

この条約に入っている国は、自分の国の中で保護しようとする湿地を決めて、一生けんめい守ることが義務づけられる。日本が登録した湿地は、北海道の釧路湿原、クッチャロ湖、ウトナイ湖、霧多布湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、宮島沼。宮城県の伊豆沼・内沼、千葉県の谷津干潟、石川県の片野鴨池、滋賀県の琵琶湖、新潟県の佐潟、沖縄県の漫湖、愛知県の藤前干潟などがある。

2021年12月現在、日本におけるラムサール条約登録地は53か所、総面積は155,174ヘクタールに広がっている。

残念ながら、長野県は一つもない

